

結果概要

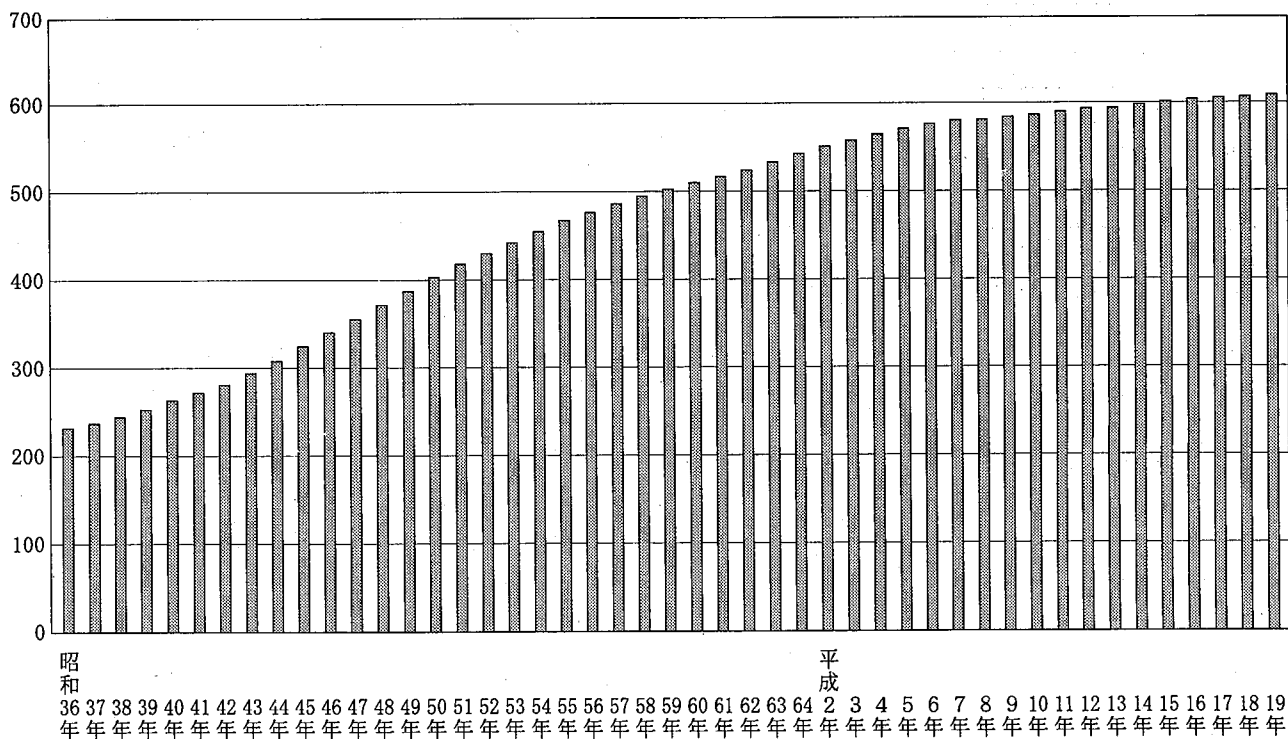
1. 人口総数

県人口608万人 平成19年1月1日現在の本県の人口は6,083,156人で、前年人口の6,060,816人に比べ22,340人、率にして0.37%増加した。本県の人口は、大正9年10月1日現在（国勢調査）1,336,155人で、その後増加を続け、昭和49年11月1日現在では400万人を超えて、4,002,808人となった。さらに、昭和58年10月1日現在では500万人を超え5,002,542人となり、平成14年9月17日に600万人を突破した。

平成17年国勢調査 によると、本県の人口は、6,056,462人で全国第6位となっている。

図1 千葉県人口の推移（各年1月1日現在）

(単位：万人)

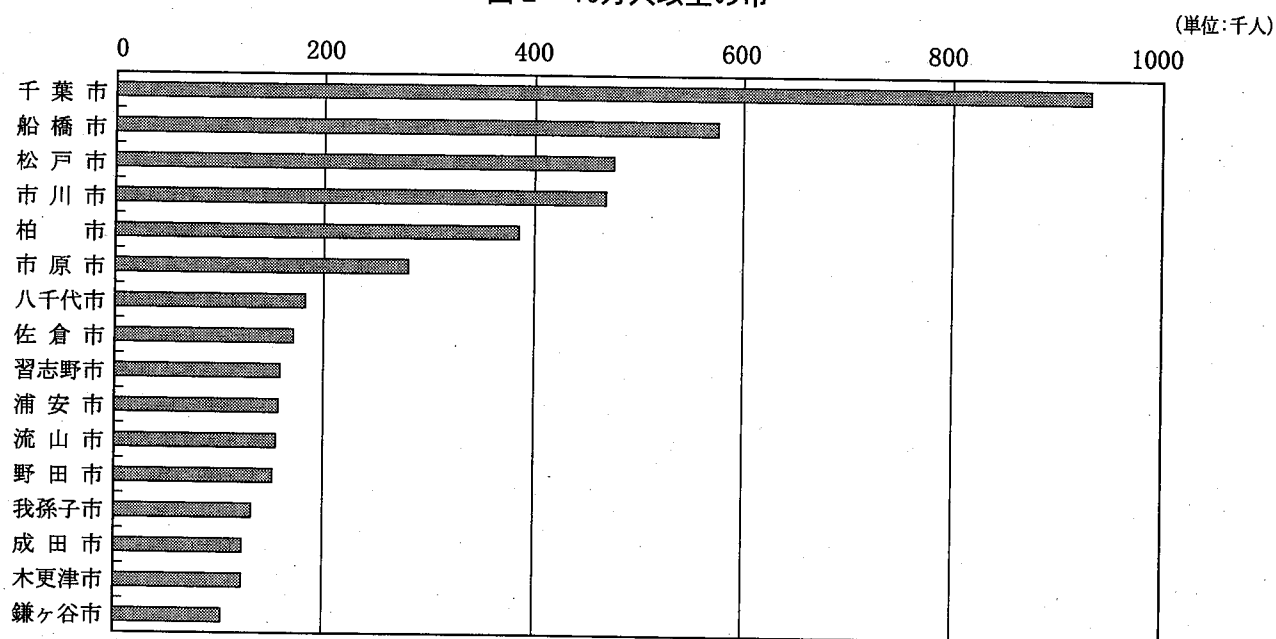


千葉市人口93万1千人
県人口の15.3%を占める

平成19年1月1日現在の県人口を市町村別にみると、市部（36市）のうち10万人以上の市は16市あり、そのうち千葉市が93万1千人（県人口に占める割合15.3%）で最も多く、郡部人口30万2千人（同5.0%）の約3倍となっている。以下、船橋市57万6千人（同9.5%）、松戸市47万5千人（同7.8%）、市川市46万8千人（同7.7%）、柏市38万5千人（同6.3%）の順で続き、この5市で県人口の46.6%を占めている。

郡部（17町3村）では、大網白里町が4万9千人（同0.8%）で最も多く、以下、横芝光町2万5千人（同0.4%）、栄町2万3千人（同0.4%）、酒々井町2万1千人（同0.4%）九十九里町1万8千人（同0.3%）の順となっている。

図2 10万人以上の市



2. 人口増加

人口増加数2万2千人
増加率0.37%

平成18年中の本県の人口増加は、増加数22,340人、増加率0.37%で、前年（10,213人、0.17%）より増加した。

近年の人口増加の推移を増加率でみると、昭和42年から49年までは4%以上の増加率であったが、昭和57年からは1%台で推移、平成5年には1%を割り、平成18年には0.37%となった。

自然増加数は増加

平成18年中の自然増加は、増加数7,492人（出生52,492人、死亡45,000人）で、前年の7,270人（出生51,401人、死亡44,131人）に比べ出生が1,091人増加し、死亡が869人増加して自然増加数は222人増加となった。

近年の自然増加を増加率（各年1月1日現在人口に対する自然増加総数の割合）でみると、昭和42年から54年までは1%以上の増加率であったが、昭和55年に1%を割り、平成元年以降は0.5%を下回って推移し、平成18年は0.12%となった。

社会増加数は増加

平成18年中の社会増加は、増加数14,848人（転入197,865人、転出183,020人、県内の移動-867人、その他870人）で、前年の2,943人（転入196,019人、転出186,846人、県内の移動-1,339人、その他-4,891人）に比べ転入が1,846人増加し、転出が3,826人減少し、県内の移動が472人増加し、その他が5,761人増加して、社会増加数は前年に比べ11,905人の増加となった。近年の社会増加を増加率（各年1月1日現在人口に対する社会増加総数の割合）でみると、昭和37年から昭和50年までは2%以上の増加率で、そのうち昭和44年は、3.97%と4%に近い高い増加率であったが、昭和51年以降は1%前後の増加率で推移し、平成18年には0.24%となった。

図3 人口増加率の推移（昭和36年～平成18年）

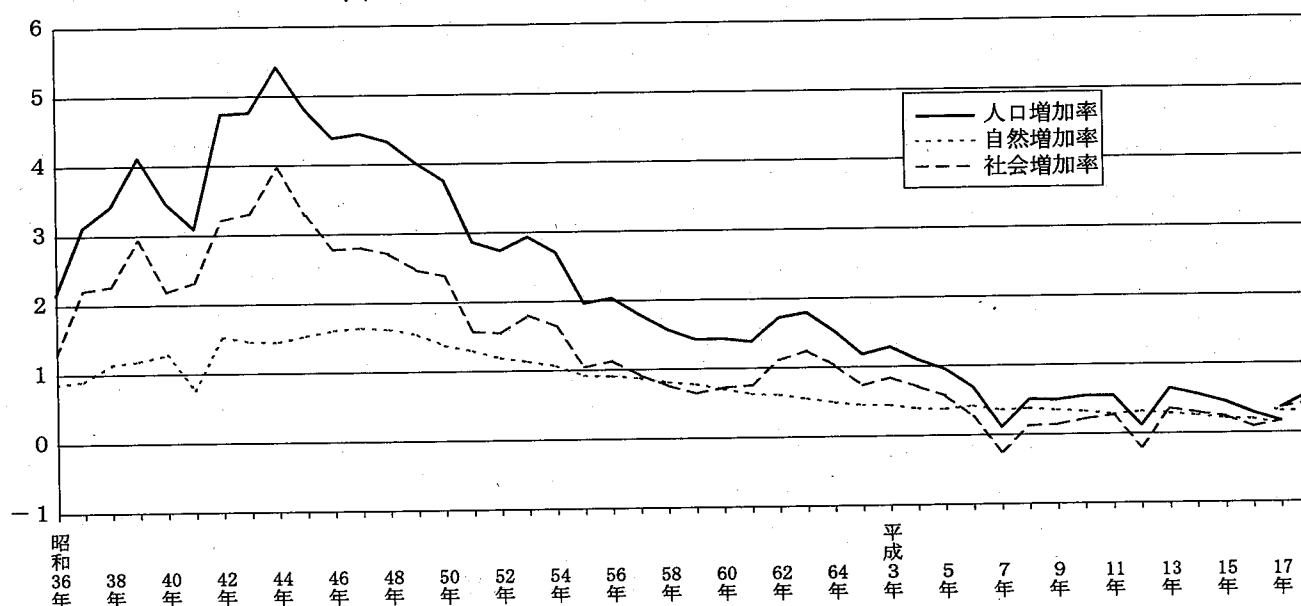


表1 月別動態別人口増加数（平成18年中）

（単位：人）

	人口増加	自然増加			社会増加				
		増加数	出生	死亡	増加数	転入	転出	県内の移動	その他
1 月中	-1,098	-514	4,466	4,980	-584	11,224	11,180	-517	-111
2 月中	-1,458	94	4,009	3,915	-1,552	11,794	12,520	-701	-125
3 月中	-805	384	4,437	4,053	-1,189	36,515	36,623	-964	-117
4 月中	11,328	417	3,866	3,449	10,911	29,344	20,097	1,290	374
5 月中	2,928	970	4,749	3,779	1,958	14,649	13,271	406	174
6 月中	1,838	948	4,335	3,387	890	13,163	12,385	-59	171
7 月中	2,229	1,084	4,415	3,331	1,145	14,101	12,960	-127	131
8 月中	2,157	1,099	4,575	3,476	1,058	14,852	14,074	201	79
9 月中	-6	1,027	4,316	3,289	-1,033	13,619	14,609	-341	298
10 月中	3,308	1,054	4,680	3,626	2,254	14,813	12,858	85	214
11 月中	1,610	685	4,402	3,717	925	12,014	11,148	-28	87
12 月中	309	244	4,242	3,998	65	11,777	11,295	-112	-305
計	22,340	7,492	52,492	45,000	14,848	197,865	183,020	-867	870

注）その他とは、職権による記載・消除等をいう。

25市町村で人口増加
最高増加率は白井市2.51%

平成18年中の人口増減を市町村別にみると、25市町村で人口が増加（平成17年27市町村）し、31市町村で減少した。増加数では、千葉市が5,714人（県人口増加数に占める割合25.6%）で最も多く、以下、船橋市5,074人（同22.7%）、柏市3,683人（同16.5%）松戸市2,845人（同12.7%）市川市2,260人（同10.1%）と続いている。逆に、減少数では銚子市が1,194人で最も多く、以下、香取市946人、君津市710人、市原市624人、南房総市574人の順となっている。

また、人口増加率では白井市が2.51%で最も多く、以下、本埜村2.25%、印旛村1.38%、成田市1.31%、流山市1.18%、と続いている。逆に減少率では睦沢町が2.20%で最も高く、以下、鋸南町2.07%、勝浦市1.91%、九十九里町1.76%、銚子市1.60%の順となっている。

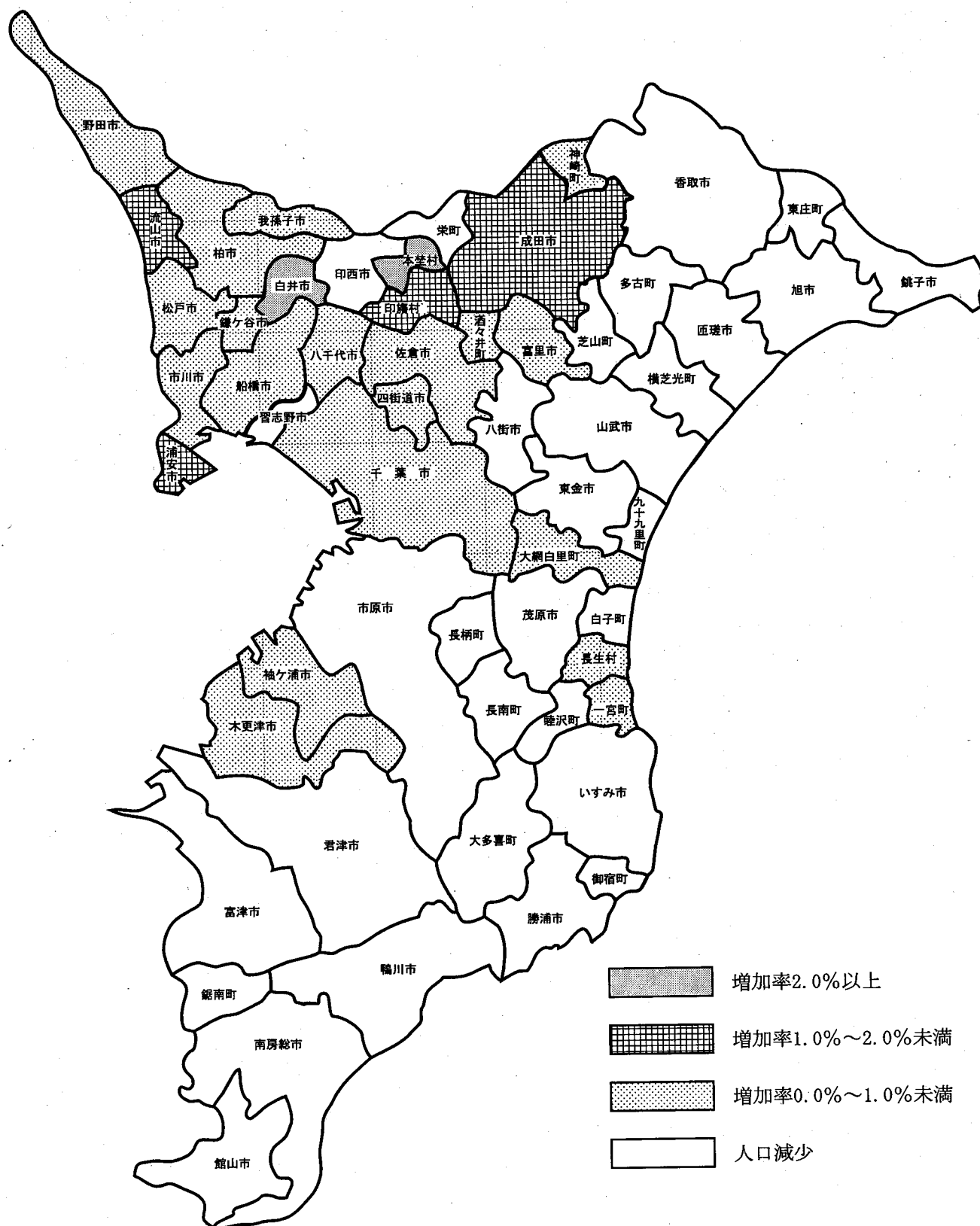
表2 人口増減数上位5市町村（平成14年～平成18年）

順位	平成14年		平成15年		平成16年		平成17年		平成18年	
	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数
1	千葉市	8,730 ^人	千葉市	7,611 ^人	千葉市	5,244 ^人	千葉市	6,795 ^人	千葉市	5,714 ^人
2	船橋市	6,196	浦安市	6,050	浦安市	4,022	浦安市	3,925	船橋市	5,074
3	市川市	5,543	船橋市	4,471	船橋市	3,355	船橋市	2,165	柏市	3,683
4	八千代市	3,216	八千代市	2,181	八千代市	1,881	成田市	1,466	松戸市	2,845
5	浦安市	3,028	松戸市	2,152	習志野市	1,447	八千代市	1,360	市川市	2,260
順位	平成14年		平成15年		平成16年		平成17年		平成18年	
	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数
1	銚子市	861 ^人	銚子市	960 ^人	銚子市	803 ^人	松戸市	1,482 ^人	銚子市	1,194 ^人
2	富津市	506	富津市	549	富津市	541	佐倉市	1,308	香取市	946
3	佐原市	479	野田市	504	君津市	413	木更津市	1,097	君津市	710
4	印西市	371	佐原市	358	佐原市	402	茂原市	876	市原市	624
5	君津市	318	勝浦市	343	勝浦市	303	九十九里町	806	南房総市	574

表3 人口増減率上位5市町村（平成14年～平成18年）

順位	平成14年		平成15年		平成16年		平成17年		平成18年	
	市町村	増加率	市町村	増加率	市町村	増加率	市町村	増加率	市町村	増加率
1	浦安市	2.18%	浦安市	4.27%	浦安市	2.72%	本埜村	2.80%	白井市	2.51%
2	印旛村	2.08	白井市	2.63	酒々井町	2.26	浦安市	2.59	本埜村	2.25
3	八千代市	1.87	酒々井町	2.20	白井市	1.19	大網白里町	1.71	印旛村	1.38
4	酒々井町	1.64	印旛村	1.74	八千代市	1.06	成田市	1.47	成田市	1.31
5	市川市	1.21	長生村	1.50	成田市	1.01	長柄町	1.39	流山市	1.18
順位	平成14年		平成15年		平成16年		平成17年		平成18年	
	市町村	減少率	市町村	減少率	市町村	減少率	市町村	減少率	市町村	減少率
1	睦沢町	2.13%	長南町	2.07%	干潟町	1.52%	九十九里町	4.08%	睦沢町	2.20%
2	富浦町	1.75	天津小湊町	2.05	大多喜町	1.41	白浜町	2.84	鋸南町	2.07
3	下総町	1.68	千倉町	1.70	勝浦市	1.34	下総町	2.43	勝浦市	1.91
4	富山町	1.41	鋸南町	1.65	千倉町	1.31	山武町	2.33	九十九里町	1.76
5	白浜町	1.35	勝浦市	1.49	夷隅町	1.28	丸山町	2.05	銚子市	1.60

図4 市町村別人口増加率（平成18年1月～12月）



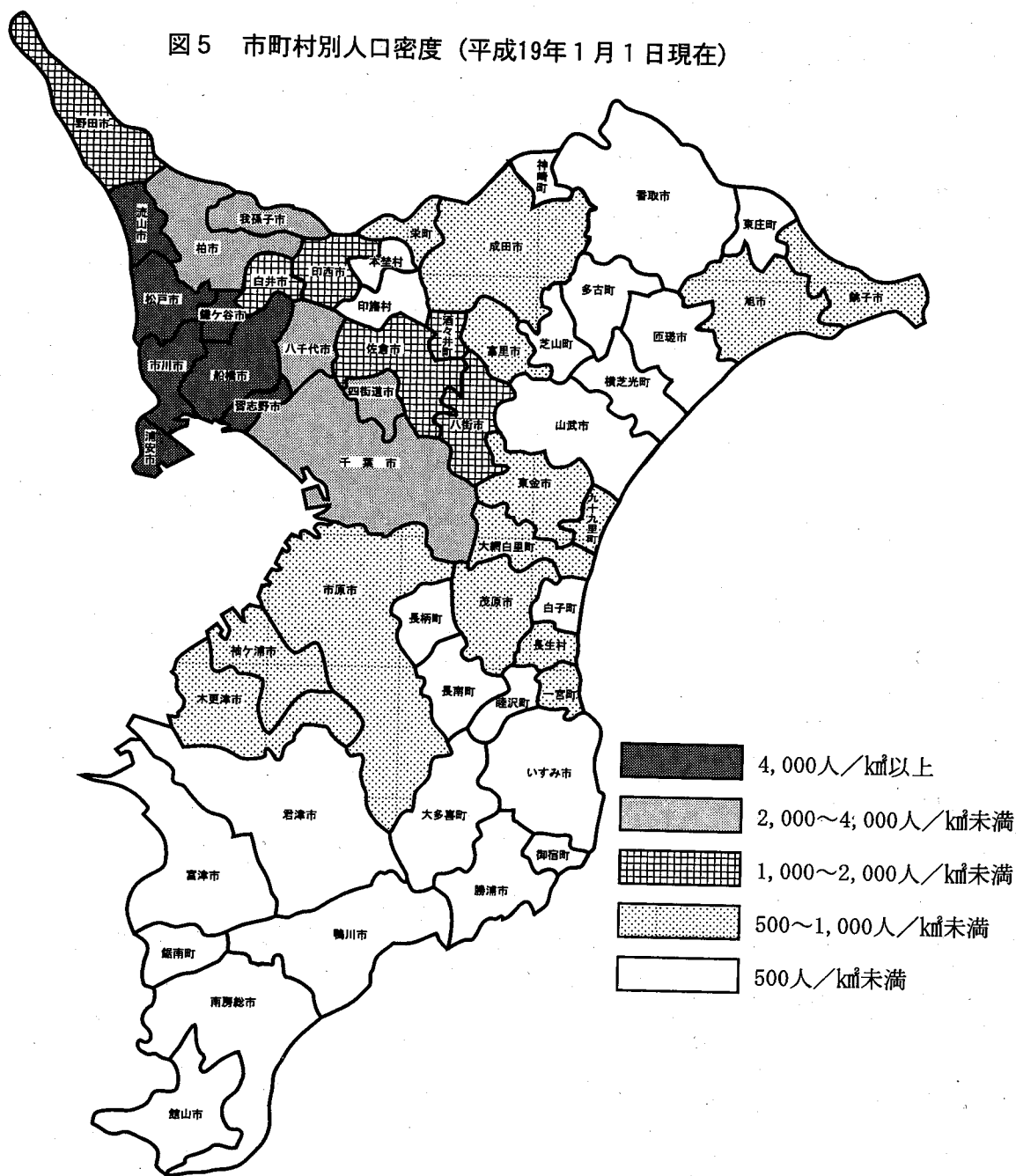
3. 人口密度

県人口密度1,179.7人/㎢
市町村別人口密度は浦安市
が9,099.3人/㎢で最高

本県の人口密度は、平成19年1月1日現在1,179.7人/㎢で、前年の人口密度（1,175.3人/㎢）に比べ4.4人/㎢高くなった。市郡別にみると、市部1,351.6人/㎢、郡部343.7人/㎢で、市部は郡部の約4倍の人口密度となっている。

人口密度を市町村別にみると、浦安市が9,099.3人/㎢で最も高く、以下、市川市8,153.8人/㎢、松戸市7,753.7人/㎢、習志野市7,568.6人/㎢、船橋市6,722.3人/㎢と続き、逆に人口密度の低い市町村は、大多喜町87.3人/㎢、長南町147.6人/㎢、長柄町179.1人/㎢、鴨川市188.9人/㎢、芝山町191.2人/㎢、の順となっている。

図5 市町村別人口密度（平成19年1月1日現在）



4. 人口性比

平成19年1月1日現在の本県の人口を男女別にみると、男子3,040,185人、女子3,042,971人で男子が女子に比べ2,786人少なく、人口性比（女子100人に対する男子の数）は、99.9で前年（100.0）に比べ0.1ポイント減少した。

人口性比を市町村別にみると、市川市の105.3が最も高く、以下、市原市104.8、富里市104.2、勝浦市103.9、浦安市103.1、逆に最も低いのは南房総市の89.1で、以下、御宿町89.1、鴨川市89.2、鋸南町90.7、銚子市90.8となっている。

100以上の市町村は16市町で、100未満の市町村は40市町村となっている。

昭和36年以降の人口性比の動きを各年1月1日現在でみると、95.9から上昇し続け、昭和44年にはじめて男子人口が女子人口を上回り人口性比が100を越え、平成6年には、過去最高の102.2となった。その後は徐々に下降し、平成19年には再び100を下回る99.9となった。

図6 人口性比（昭和36年～平成19年、各年1月1日現在）



5. 世 帯 数

県世帯数236万世帯
1世帯当たり人員は
2.57人

平成19年1月1日現在の本県の世帯数は2,368,835世帯で、前年の世帯数2,330,931世帯に比べて37,904世帯増加し、増加率では1.63%となり、人口増加率0.37%よりも高い率となっている。

1世帯当たり人員は2.57人で、前年の2.60人に比べ0.03人減少した。また、1世帯当たり人員を市町村別にみると、東庄町の3.48人が最も多く、以下、長南町の3.36人、芝山町・印旛村3.34人、本埜村3.33人と続き、逆に最も少ないのは市川市の2.23人で、以下、浦安市2.29人、勝浦市2.39人、船橋市2.41人、松戸市2.42人の順となっている。

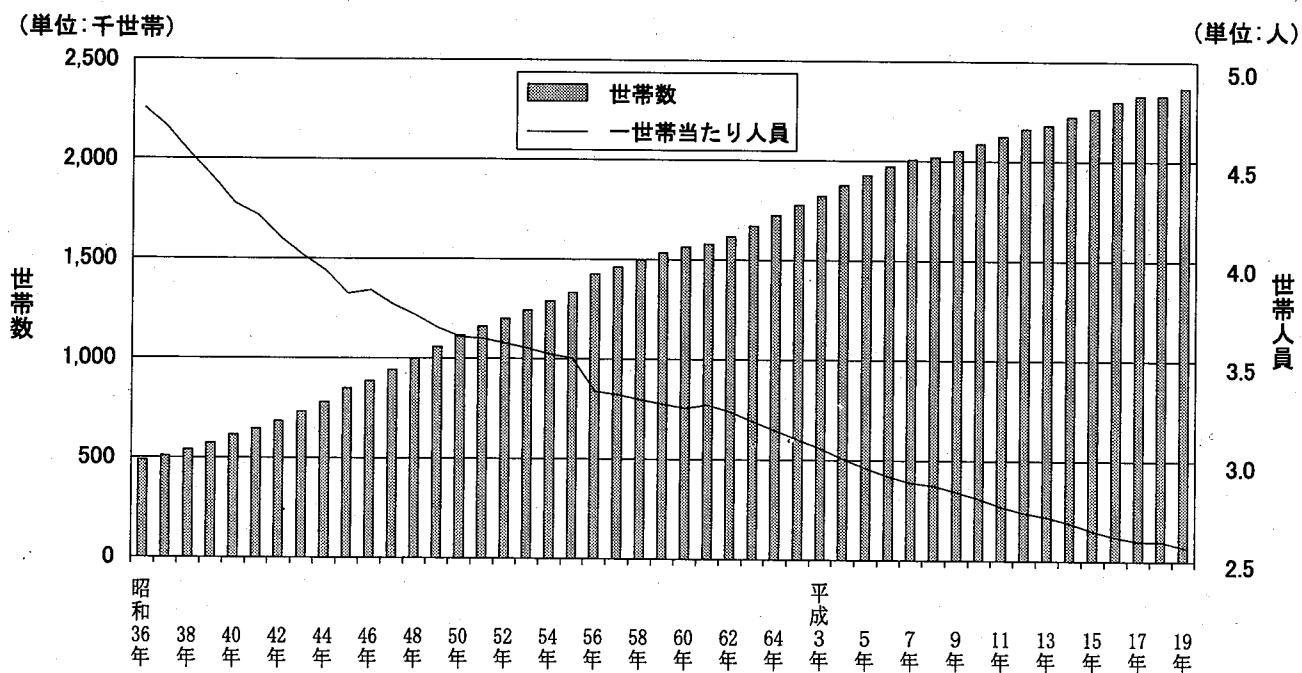
県の1世帯当たり人員より少ないのは11市町で、多いのは45市町村となっている。

表4 月別世帯増加数（平成18年中）

	増加数	転 入	転 出	その他
1 月中	394	6,048	5,733	79
2 月中	807	6,533	6,558	832
3 月中	7,925	20,653	15,207	2,479
4 月中	11,567	17,937	9,290	2,920
5 月中	3,171	8,573	6,585	1,183
6 月中	2,338	7,567	6,356	1,127
7 月中	2,364	7,765	6,379	978
8 月中	2,429	7,934	6,793	1,288
9 月中	1,646	8,063	7,500	1,083
10 月中	2,792	8,253	6,516	1,055
11 月中	1,757	6,792	5,756	721
12 月中	714	6,336	5,647	25
計	37,904	112,454	88,320	13,770

注）その他は、県内間の転入転出、死亡世帯及び職権による記載・消除等をいう。

図7 世帯数及び世帯人員数の推移（各年1月1日現在）



6. 県外との人口移動

人口移動総数38万人
移動率6.27%

平成18年中の県外との移動者総数（転入者数と転出者数の和）は、380,885人で前年の382,865人に比べ1,980人減少し、移動率（各年7月1日現在人口に対する移動者総数の割合）は6.27%と、前年の6.32%に比べて0.05ポイント低下した。

1万4千人の転入超過
転入超過率0.24%

平成18年中の県外からの転入者数は197,865人（前年196,019人）、転出者数183,020人（同186,846人）で、転入超過数14,845人（同9,173人）となり、転入超過数は5,672人増加した。

また、平成18年の転入超過率（各年7月1日現在人口に対する転入超過数の割合）は0.24%と、前年の0.15%に比べて0.09ポイント増加した。なお、県外との関係は44の都道府県から転入超過となり、2都道府県へは転出超過となっている。

表5 年次別他都道府県間人口移動総数（平成2年～平成18年）

年次	移動数	移動率	転入超過数	転入超過率	転入数	転出数	千葉県人口 (各年7月1日現在)
平成2	432,300人	7.79%	43,116人	0.78%	237,708人	194,592人	5,546,610人
3	431,533	7.69	44,911	0.80	238,222	193,311	5,608,760
4	437,491	7.70	38,413	0.68	237,952	199,539	5,680,470
5	434,997	7.58	30,987	0.54	232,992	202,005	5,735,511
6	430,738	7.45	14,586	0.25	222,662	208,076	5,781,768
7	421,118	7.24	10,278	0.18	215,698	205,420	5,816,032
8	411,860	7.08	6,586	0.11	209,223	202,637	5,818,369
9	410,182	7.01	7,980	0.14	209,081	201,101	5,849,014
10	409,201	6.96	12,443	0.21	210,822	198,379	5,880,299
11	400,780	6.78	15,562	0.26	208,171	192,609	5,910,682
12	402,748	6.78	13,754	0.23	208,251	194,497	5,943,886
13	405,122	6.80	20,620	0.35	212,871	192,251	5,953,852
14	392,787	6.55	17,385	0.29	205,086	187,701	5,992,362
15	397,319	6.60	16,827	0.28	207,073	190,246	6,020,313
16	384,037	6.35	6,233	0.10	195,135	188,902	6,048,643
17	382,865	6.32	9,173	0.15	196,019	186,846	6,059,169
18	380,885	6.27	14,845	0.24	197,865	183,020	6,073,549

表6 千葉県との転入・転出超過上位都道府県（平成14年～平成18年）

順位	平成14年		平成15年		平成16年		平成17年		平成18年	
	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数
1	大阪府	2,749人	大阪府	1,648人	大阪府	1,543人	北海道	1,570人	北海道	1,810人
2	茨城県	1,376	茨城県	1,239	北海道	1,058	大阪府	1,255	大阪府	1,574
3	宮城県	1,303	北海道	1,033	福岡県	787	埼玉県	1,222	宮城県	1,302
4	兵庫県	1,086	兵庫県	785	兵庫県	758	茨城県	1,088	埼玉県	1,294
5	北海道	936	福岡県	730	宮城県	750	宮城県	998	茨城県	888
順位	平成14年		平成15年		平成16年		平成17年		平成18年	
	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数
1	東京都	3,657人	東京都	2,157人	東京都	7,991人	東京都	8,408人	東京都	6,323人
2	神奈川県	1,581	神奈川県	859	神奈川県	1,708	神奈川県	1,661	神奈川県	730
3	島根県	20	沖縄県	36	栃木県	103	愛知県	304		
4			佐賀県	19			島根県	16		
5							山梨県	1		

7. 人口重心

人口重心は千葉市花見川区
畑町付近

本県の人口重心は、平成19年1月1日現在で、千葉市花見川区畑町付近の東経140度5分1秒・北緯35度39分50秒の位置にあり、平成17年国勢調査人口（平成17年10月1日現在）をもとに算出した地点より西北西方向に約200m移動した。

大正9年の人口重心は、市原市瀬又付近であるが、その後、人口重心は北西方向に移動してきている。

注）人口重心とは、人口の一人一人が同じ重さを持っているとして、地域内の人口を1点で支えて平衡を保つことのできる点をいう。これは、人口の地域分布状況を集約して示す指標の一つである。なお、千葉県の人口重心の計算にあたっては、県内各市町村の人口重心がそれぞれ現在の市役所・町村役場にあると仮定した。

表7 千葉県の人口重心の推移（大正9年～平成19年）

年次	東 度 分 秒	北 度 分 秒	移動距離 km	位 置
大正9年	140 12 38	35 32 25	—	市原市瀬又付近
大正14年	140 12 24	35 32 49	0.8	千葉市誉田町付近
昭和5年	140 12 23	35 33 12	0.7	〃
昭和10年	140 12 22	35 33 29	0.5	〃
昭和15年	140 12 9	35 33 50	0.7	千葉市平山町付近
昭和22年	140 11 30	35 34 7	1.1	〃
昭和25年	140 11 24	35 34 18	0.4	〃
昭和30年	140 10 57	35 34 44	1.0	〃
昭和35年	140 10 8	35 35 23	1.7	千葉市仁戸名町付近
昭和40年	140 8 19	35 36 45	3.7	千葉市貝塚町付近
昭和45年	140 6 43	35 37 34	2.9	千葉市轟町付近
昭和50年	140 5 52	35 38 20	1.9	千葉市小仲台付近
昭和55年	140 5 27	35 38 53	1.2	千葉市小中台町付近
昭和60年	140 5 15	35 39 10	0.6	千葉市朝日ヶ丘付近
平成2年	140 5 8	35 39 28	0.6	千葉市畑町付近
平成7年	140 5 20	35 39 49	0.7	千葉市花見川区畑町付近
平成12年	140 5 20	35 39 54	0.2	〃
平成17年	140 5 9	35 39 47	0.4	〃
平成19年	140 5 1	35 39 50	0.2	〃

資料：大正9年～平成12年は国勢調査結果、平成17年は国勢調査人口をもとに算出（10月1日現在）
平成19年は千葉県毎月常住人口による（1月1日現在）

図8 人口重心の移動（大正9年～平成19年）

